

開館20周年記念企画展

石見の祈りと美—未来へつなぐ中世の宝

【会期】 2025年4月26日(土)～2025年6月16日(月)

前期：4月26日(土)～5月19日(月)

後期：5月21日(水)～6月16日(月)

【会場】 島根県立石見美術館 展示室D

大幅な
展示替え
あり

狩野松栄筆
《益田元祥像》
桃山時代・16世紀
島根県立石見美術館蔵
重要文化財
【後期展示】



現在の島根県西部、石見地域ゆかりの美術工芸品が集結！

日本の平安時代末から安土桃山時代の中世には、現在の島根県西部にあたる石見地域においても豊かな文化が花ひらき、数多くの美術工芸品が制作されました。それらはなぜ生み出され、どのような役割を持っていたのでしょうか。その疑問を紐解いていくと、当時の人々の価値観や美意識にふれることができます。また、中世の遺品が現代まで残されているのは、それらを守り未来へつなぐという人々の営みが続いてきたためです。

本展では、約60点（重要文化財16点を含む）にのぼる中世の石見地域ゆかりの美術工芸品を4つの章に分けて展示し、それらが制作された背景、果たしていた役割・機能、後世へ守り伝えられた営みについて考えます。

本展が地域の歴史文化に改めて目を向けるきっかけとなりましたら幸いです。

みどころ① 石見へ初めて里帰りとなる作品も！

益田宗兼が足利義植より拝領したと伝わる《白茶地桐竹模様綾小袖》(右図)など、本展で初めて石見へ里帰りを果たす作品もあります。



《白茶地桐竹模様綾小袖》
室町時代・16世紀
東京国立博物館蔵
重要文化財【前期展示】
Image: TNM Image Archives

みどころ② 指定文化財を多数展示！

重要文化財16点、島根県指定文化財11点、益田市指定文化財5点、

みどころ③ 巡回展ではありません！

当館でしか開催しない自主企画展です。

関連プログラム（予定）

美術講座

講師：角野広海（島根県立石見美術館）
日時：5月24日(土) 14:00～15:30
会場：グラントワ講義室
※先着40名／申込不要／参加無料

グラントワマルシェ2025

日時：5月3日(土)
※小雨決行
会場：グラントワ中庭広場ほか
入場無料／飲食・物販等有料

その他、**展覧会チラシやホームページ**で随時情報を公開します。

第1章 祈りと信仰

本章では、主に鎌倉時代から室町時代までの仏教美術に注目し、それらが制作された背景について紹介します。



《不動明王坐像》
平安時代・12世紀
神奈川県・極楽寺蔵
重要文化財
【全期間展示】

第3章 雪舟流の活躍

本章では、室町時代の画僧・雪舟等楊の弟子や孫弟子たちと石見地域との関わりについて考えます。



《釈迦十六羅漢図》(17幅の内) 桃山時代・16世紀
益田市・妙義寺蔵 【全期間展示】

第2章 石見の名族たちとその姿

本章では、石見地域を治めていた領主たちの肖像画や遺品から、今に伝えられる彼らの姿を紹介します。



狩野秀頼筆《神馬図絵馬》
永禄12年(1569) 寄進
邑南町・賀茂神社
重要文化財
【前期展示】

第4章 後世への継承

本拠とし、近世には萩藩毛利家の永代家老として活躍した益田家に伝わった美術工芸品を展示し、中世の遺品が後世へ守り伝えられる営みを紹介します。



雪舟等楊筆
《四季花鳥図風》
室町時代・15世紀
京都国立博物館蔵
【後期展示】
重要文化財

【開館時間】 9:30～18:00 (展示室への入場は17:30まで)

【休館日】 毎週火曜日(4月29日、5月6日は開館)、4月30日、5月7日

【主催】 島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央新報社、TSKさんいん中央テレビ

【後援】 芸術文化とふれあう協議会

【問い合わせ】 〒698-0022 島根県益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」内 島根県立石見美術館
TEL:0856-31-1860 FAX:0856-31-1884 E-mail: grandtoit@cul-shimane.jp https://www.grandtoit.jp
担当:角野(すみの/学芸)、的野(まとの/学芸)、田原(たばら/広報)、中川(なかがわ/広報)